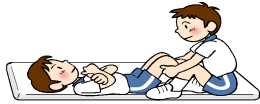


石神中学校だより10号

発行日：令和2年 9月 1日

2020重点目標〈自ら学び、夢の実現のためにやり抜く生徒〉 文責：校長 佐藤恭司



2学期が始まりました



16日間の短い夏休みが終わり、24日に2学期始業式が行われました。幸い大きな事故や事件に遭うこともなく、元気な姿に安心しました。学校が始まり1週間が過ぎましたが、生活リズムを壊すことなく、学校生活を送る生徒が多いようです。また、家庭学習も計画的に取り組んでいた声が伝わってきています。2学期は延期になっていた修学旅行や学習旅行、総合的な学習の時間での体験活動、文化祭等が計画されています。8月31日から9月4日まで、担任と保護者の二者面談が行われます。今年度は、授業参観やPTA総会等が出来ないため、学校での生徒の姿や家庭での様子などの話しが中心となります。2学期も保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



夏休みの反省と2学期の抱負を述べる生徒たち

冷水機と製氷機を設置しました

学校保健特別対策事業費補助金を活用し、本校では冷水機3台(各階)と製氷機1台を購入し、8月6日に設置しました。冷水機は、水道直結式により、水道水を3重ろ過方式で遊離残留塩素や有機塩素化合物などを取り除いて、瞬間冷却できるものです。生徒らが持参する水筒にも補充できるため、多くの生徒らが活用しています。また、業務用製氷機は、生徒がけがをした際、腫れた部分を氷で冷やすために購入しました。新型コロナウイルスによる感染拡大防止に伴い、マスク着用時間が長くなり、熱中症のリスク軽減にも役に立つものと考えます。冷水機1台は20万円以上と高額なため、使用する際は丁寧に扱うよう全校生徒に指導しました。

学校にお越しの際は、ぜひ「安心で美味しい水」を味わってください。



マイボトルに冷水を補充する生徒たち

〈新コーナー〉四字熟語は奥が深い！⑥ 四字熟語とは、日本において漢字4文字で作られた熟語を指す用語。知れば知るほど面白い四字熟語。生活の中でも十分に使えます。

切瑳琢磨 (せっさ-たくま) 学問や人徳をよりいっそう磨き上げること。また、友人同士が互いに励まし合い競争し合って、共に向上すること。もとは、玉や石を磨くことを意味する言葉で、「切」は切る、「磋」は荒く磨く、「琢」は形を整える、「磨」は磨くことを意味する。

P T A資源回収と奉仕作業ありがとうございました！

7月15日から行われてきましたP T A資源回収（段ボール、新聞紙、雑誌、アルミ缶、一升瓶、ビール瓶、ペットボトル、牛乳パック等）は、各家庭のご協力により、多くの資源物回収を行うことが出来ました。収益金は生徒の活動補助費用として有効に活用させていただきます。後日、収益金については報告をさせていただきます。ありがとうございました。



8月29日（土）早朝より、P T A奉仕作業（除草）が行われました。多くの参加者のご協力を頂き、テニスコートを中心に作業を行っていただきました。朝から、気温が上昇し、炎天下の中にもかかわらず、熱心に奉仕作業に取り組んでいただきまして、深く感謝いたします。

彫刻（ブロンズ像）を設置しました！⑥⑦

4回目は⑥北郷 悟氏と⑦清水多嘉示氏の作品と略歴です。（Wikipedia 参照）

⑥ **北郷 悟**（きたごう さとる、1953年 - ）は、日本の彫刻家。東京芸術大学教授。福島県いわき市生まれ。東京造形大学造形学部美術学科彫刻専攻卒業。東京芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。新潟大学教育学部助手/助教授、東京芸術大学美術学部彫刻科助教授を経て2006年より現職。2009年から東京芸術大学副学長/理事。新制作協会会員。1996年から1997年まで文化庁芸術家在外研究員としてイタリアブレラアカデミア美術学校へ留学。



北郷 悟 作「From the sky」



清水多嘉示 作「ふくろう」

⑦ **清水多嘉示**（しみず たかし、1897年〈明治30年〉 - 1981年）長野県諏訪郡原村出身の彫刻家、武蔵野美術大学教授、文化功労者、原村名誉市民である。[ブロンズ彫刻で、院展、国画会の国展、春陽会展、サンパウロ・ビエンナーレ国際現代美術展などに出品。1943年新文展審査員。生命感にあふれるブロンズ像で高い評価を受けた。日本を代表する彫刻家として近代彫刻の発展に貢献し、その生涯に残した作品群は、地元地域、長野県内、全国各地で見られ、特に学校、公共施設等に多く展示されている。]

